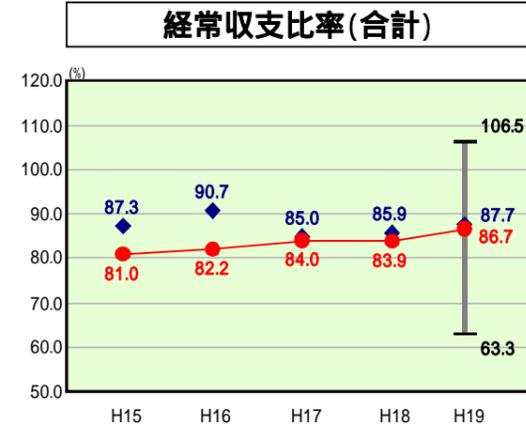


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

愛知県 瀬戸市

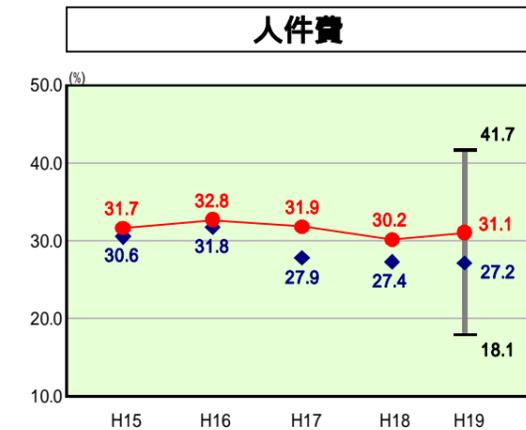
経常収支比率の分析



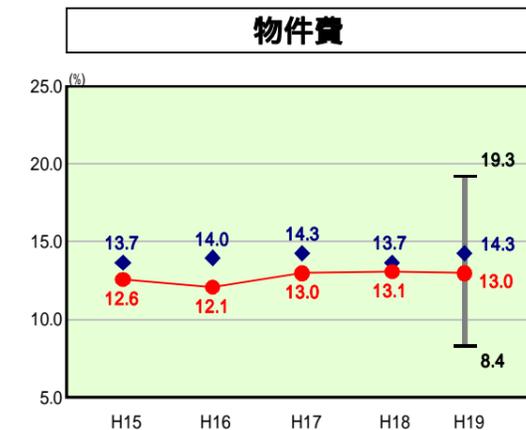
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 ⊥

人口 129,251人(H20.3.31現在)
面積 111.61 km²
歳入総額 31,366,121千円
歳出総額 30,410,843千円

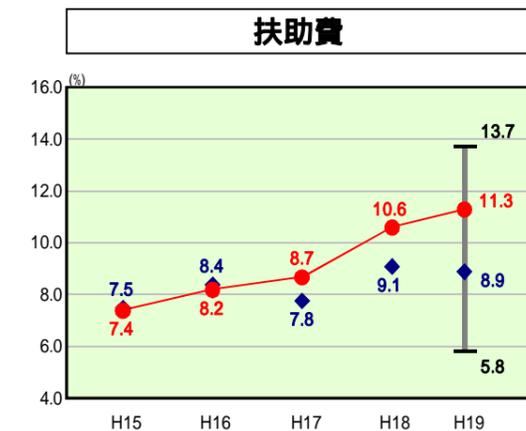
H19類似団体内順位 8/19
全国市町村平均 92.0
愛知県市町村平均 84.9



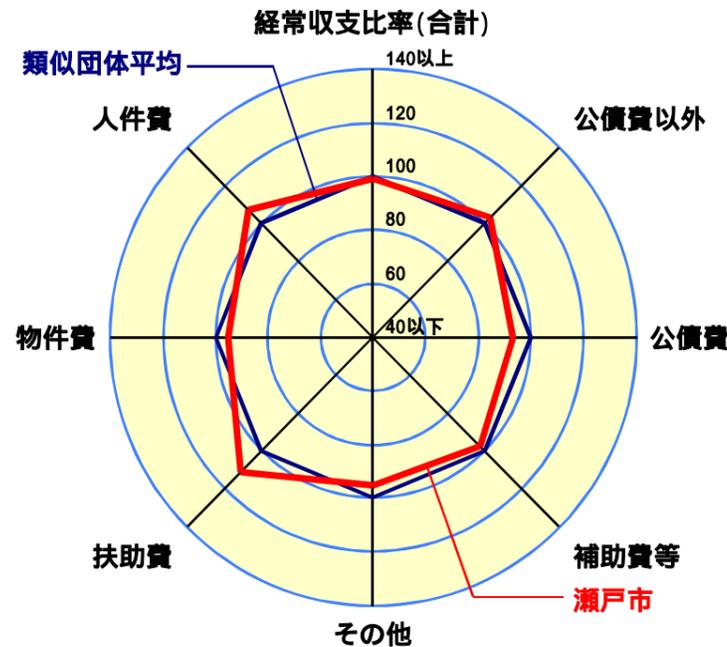
H19類似団体内順位 15/19
全国市町村平均 28.0
愛知県市町村平均 25.3



H19類似団体内順位 6/19
全国市町村平均 13.1
愛知県市町村平均 14.2



H19類似団体内順位 16/19
全国市町村平均 8.8
愛知県市町村平均 9.1



- 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

経常収支比率は、退職手当、少子化・高齢化に対応するための児童手当や福祉医療費等の扶助費、瀬戸蔵やパルティセと建設事業・臨時財政対策債等の償還開始による公債費の増により、平成18年度に比べ、2.8%上昇した。

【人件費、人件費及び人件費に準ずる費用の分析】

積極的な事務事業の見直し、民間委託の推進等により職員給は減少したものの、退職手当の増加により0.9%上昇した。

【扶助費】

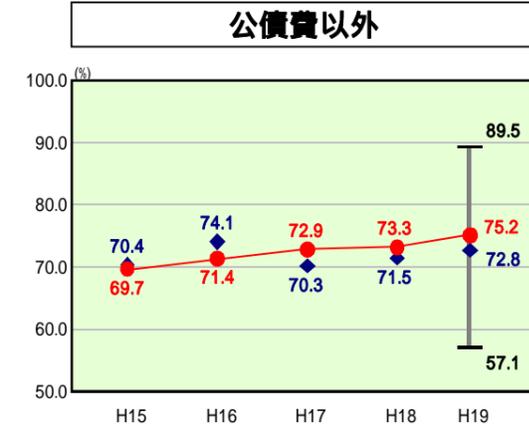
少子化・高齢化に対応するための児童手当や福祉医療費等の扶助費が増加を続けている。今後は、各事業の制度、効果、必要性を精査し、見直し等を行い、適正化に努める。

【公債費・公債費及び公債費に準ずる費用分析】

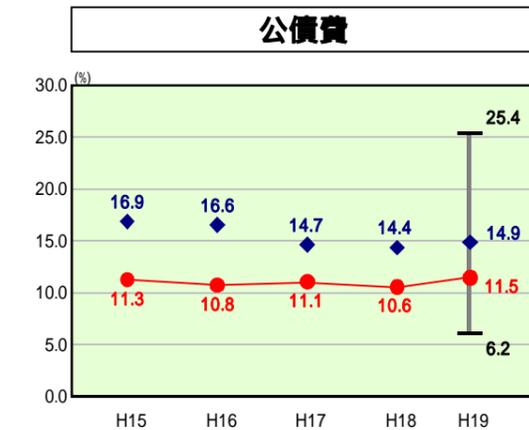
瀬戸蔵やパルティセと建設事業・臨時財政対策債等の償還開始により、公債費が増加している。

【普通建設事業費の分析】

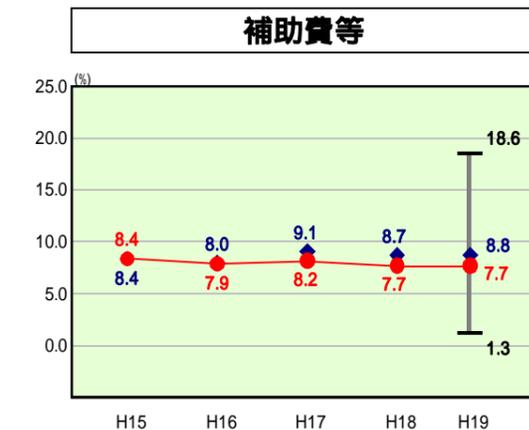
愛・地球博(平成16年度末開幕)を市の活性化に結びつけるための瀬戸蔵建設や尾張瀬戸駅周辺整備事業等の整備をピークに減少を続けていたが、小中学校の耐震補強工事や、(仮称)瀬戸万博記念公園整備等により、上昇に転じている。



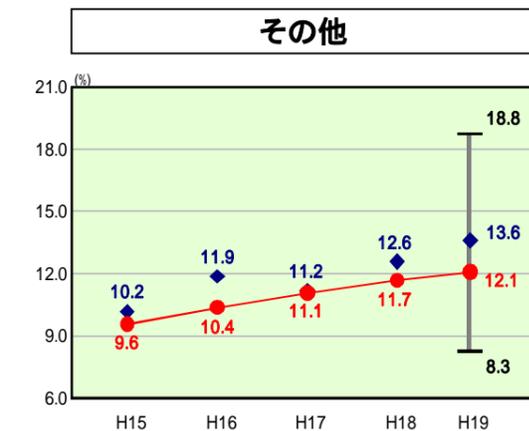
H19類似団体内順位 13/19
全国市町村平均 71.7
愛知県市町村平均 69.9



H19類似団体内順位 4/19
全国市町村平均 20.3
愛知県市町村平均 15.0



H19類似団体内順位 8/19
全国市町村平均 10.4
愛知県市町村平均 11.9



H19類似団体内順位 8/19
全国市町村平均 11.4
愛知県市町村平均 9.4